

厚木市電子納品特記仕様書「工事編」

第1条(適用範囲)

本特記仕様書は、厚木市が発注する工事等（以下、「工事」という。）の最終成果の工事写真を電子納品の対象とし、そのために必要な事項について定めるものである。

第2条(電子納品)

電子納品とは、工事の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、「厚木市電子納品試行ガイドライン【工事編】」（以下、「ガイドライン」という。）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、「ガイドライン」によること。

第3条(電子納品実施における管理責任者の設置)

受注者は、電子納品の実施にあたり、電子データの作成及び管理、コンピュータウイルス対策に関する管理責任者を設置するとともに、事前協議チェックシートにその旨を記載すること。管理責任者は、電子データの管理に関する十分な知識を有する者とし、データの紛失や改ざん防止のためのバックアップやコンピュータウイルス対策を行うこと。

第4条(成果品の納品)

成果品は、「ガイドライン」に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）に格納して2部納品する。なお、電子納品の対象外とした品目は、従来通り紙で納品する。「ガイドライン」で特に記載がない項目については、原則として成果を電子化して納品する義務はないが、監督員と協議の上、電子化の是非を決定する。

第5条(成果品の確認)

受注者は、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施すること。なお、電子データの検査方法については、別途協議の上、決定する。第6条(その他)

受注者は、工事を実施するにあたり、事前協議を実施するとともに、結果を事前協議チェックシートに記載し、施工計画書に添付する。又、その他内容に疑義を生じた場合は、速やかに監督員と協議し、その指示を受けなければならない。

令和元年7月1日
厚木市総務部契約検査課

デジタル工事写真の小黑板情報電子化に関する特記仕様書

1 目的

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入及び工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

2 小黑板情報電子化の実施

本工事は、工事写真の全部又は一部についてデジタル工事写真の小黑板情報電子化を実施することができる。

本工事でデジタル工事写真の小黑板情報電子化を実施する場合は、工事契約後、実施に必要な対象機器等の資料を添付した書面により監督員の承諾を得るものとする。

小黑板情報電子化を実施する工事では、次の3から6のすべてを実施することとする。

3 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以下「使用機器」という。）については、厚木市土木工事写真管理基準に示す黑板に記載する項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用すること。

信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC暗号リスト）」（URL「<http://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は、監督員に対し工事着手前に本工事での使用機器について掲示すること。

なお、使用機器の事例としてURL<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>に記載の「デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。

4 デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、前項の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、厚木市土木工事写真管理基準及び厚木市電子納品試行ガイドライン【工事編】に示す黑板に記載する項目によること。

ただし、小黑板情報電子化を実施する工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

また、写真管理基準等で小黑板の寸法や記入項目の配置が規定されている場合は、これによらないことができる。

5 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、厚木市土木工事写真管理基準及び厚木市電子納品試行ガイドライン【工事編】に準ずるが、前項に示す小黑板情報の電子的記入については、厚木市土木工事写真管理基準及び厚木市電子納品試行ガイドライン【工事編】巻末資料3工事写真で規定されている写真編集には該当しない。

6 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、第2項に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真（以下「小黑板情報電子化写真」という。）を、工事完成時に監督員へ納品するものとする。なお、納品時に、受託者は、URL

(<http://www.cals.jaic.or.jp/CIM/sharing/index.html>) のチャックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を監督員が確認することがある。

令和元年7月1日
厚木市総務部契約検査課

(電子納品する成果品CD-Rのラベル作成方法)

電子納品する成果品として使用する媒体には、以下の各項目を表示するものとします。表示方法については、専用プリンタを用いたCD-R表面への直接印字、油性マジック等での書き込みとします。(ボールペン、鉛筆など硬質な筆記具の使用はCD-Rを損傷させ、読取不能となる恐れがあることから不可)

◆納品するCD-Rには、以下の必要項目を全て表示します。

表 -1 CD-R ラベル記載項目

No.	項目	備考
1	工事番号	厚木市の契約番号(10桁)
2	工事名称	
3	路線・河川・施設名	
4	作成年月	
5	何枚目／総枚数	
6	受注者署名(押印)欄	
7	発注者名	
8	受注者名	
9	ウイルスチェックに関する情報	・ウイルス対策ソフト名 ・ウイルス定義 ・チェック年月日
10	フォーマット形式	ISO9660 (レベル1)

◆「ウイルスチェックに関する情報」については、使用した「ウイルス対策ソフト名」「ウイルス定義年月日」もしくは「パターンファイル名」、「チェック年月日」を明記してください。

◆プラスチックケースの背表紙には、以下の例のように「工事名称」「作成年月」「工事番号」を記載する。工事名が長く書ききれない場合は、先頭から書けるところまで記入してください。

(CD-R表示例)



契約番号：〇〇〇

工事名：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇工事
路線・河川・施設名：

〇年〇月

正 枚数/全体枚数

受注者署名

発注者：厚木市〇〇部〇〇課
受注者：△△株式会社

ウイルスチェックに関する情報 ウイルス対策ソフト名：〇〇〇〇 ウイルス定義：〇〇〇〇年〇月〇日版 チェック年月日：〇〇〇〇年〇月〇日 フォーマット形式：IS09660 (レベル1)
--

(CD-Rケース背表紙表示例)

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇工事	〇年〇月	「〇〇〇」
----------------	------	-------

契約番号

協議チェックシート（工事用）

工事名	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日
工事番号	

協議実施日	年 月 日（ ）
-------	----------

（１）協議参加者

発注者	部・課・担当名			
	役職名			
	出席者名			
	連絡先(電話番号)			
	連絡先(e-mail)			
受注者	社名			
	役職名			管理責任者
	出席者名			
	連絡先(電話番号)			
	連絡先(e-mail)			

（２）電子納品に向けての確認事項（受注者）

○システム環境	
パソコン	当該工事用パソコンの有無 <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> なし（ <input type="checkbox"/> 他と共有 <input type="checkbox"/> なし）
パソコン環境	Windows を搭載 <input type="checkbox"/> 有り（ ） <input type="checkbox"/> なし
	CD-R ドライブを搭載 <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> なし
ウイルス対策ソフト	ソフト名（ ） 更新対策 <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> なし
デジタルカメラ	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> なし
	画素数：130万画素に対応 <input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
電子納品作成ソフト (写真管理ソフト含む)	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> なし（ <input type="checkbox"/> 管理ファイル等自前で作成可能 <input type="checkbox"/> なし）
ワープロソフト	ソフト名（ ） Ver.
表計算ソフト	ソフト名（ ） Ver.
PDF作成ソフト	ソフト名（ ） Ver.
CADソフト (SXF形式対応ソフト)	ソフト名（ ） Ver. メーカー名
チェックソフト	ソフト名（ ） Ver.

注)1 パソコン及びデジタルカメラがない場合は、監督員と協議し電子納品は見送ること。

2 ウイルス対策については、「(5) コンピュータウイルス対策」にて詳細に確認すること。

(3) 電子納品対象書類

項目	納品形式		協議における取決め事項	検査時の対応
	電子納品	紙納品		
発注図			提供 <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> なし (注1)	
特記仕様書等			提供 <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> なし (注1)	
工事写真				
施工計画書				
打合せ簿				
その他の書類				
電子納品媒体	<input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> その他 ()			

注)1 発注図、特記仕様書等の提供がない場合は、電子納品の対象としないこと。

(4) 検査の準備

検査時に用意する電子データ	<input type="checkbox"/> 工事写真 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>		
検査機器等	書類検査の場所		
	パソコン等の準備		<input type="checkbox"/> 発注者 <input type="checkbox"/> 受注者
	ソフトウエア	(写真ビュー)	
		(図面ビュー)	
		(電子納品ビュー)	
検査時の対象電子媒体			
その他			

注) (3)、(4)の太枠で囲まれた項目について、事前協議時に定まらない場合は、検査前協議にて確認すること。また、事前協議で定まった場合でも検査前に確認すること。

(5) コンピュータウイルス対策 (受注者側)

使用ソフトウェア名	(Ver.)
ウイルスワクチンの常駐	<input type="checkbox"/> インターネットにアクセス可能なコンピュータでは、ウイルス対策ソフトを常駐させる。
ウイルスチェックの実施	<input type="checkbox"/> 外部から媒体を受け取った際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。また、外部への媒体引渡しの際には、その媒体に対するウイルスチェックを行う。
ウイルスパターン定義データの更新	<input type="checkbox"/> 管理責任者は、1週間に1回程度以上は定義データの更新状況を調査し、最新の定義データに更新する。
ウイルス発見・駆除時の対応	<input type="checkbox"/> ウイルスが発見された場合には、管理責任者がウイルスを駆除し、感染源を特定しデータ作成者に連絡すると共に、発見者にウイルス発見の届出を行う。

電子媒体納品書

(あて先)
厚木市長

受注者 (住所)
(氏名)

責任者及び担当者	
連絡先	

下記のとおり電子媒体を納品します。

記

工事名				工事番号	
電子媒体の種類	規格	単位	数量	納品年月	備考

備考

1. 監督員に提出